

1. 家庭・地域における子ども読書活動の推進

(1) 家庭における読書

子どもと保護者への取り組みの充実

子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけるうえで、家庭における保護者・家族の役割には大きいものがあります。これまでも、子ども文庫の活動や図書館でのおはなし会、読書の楽しさを味わう各種の催しや絵本出前講座など、保護者に向けて子どもの読書の楽しさや大切さを伝える取り組みが積み重ねられてきました。さらに、子どもの読書について、保護者への働きかけをきめ細かく継続的に行います。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	「おやこでおはなし会」	地域教育振興課 市立図書館	拡充	子育てに関する様々なテーマのひとつとして、絵本の読み聞かせを親子で一緒に楽しみ、子どもと本の出会いの大切さを伝える講座を行う。
				リーフレットの作成、配布	健康づくり推進課 市立図書館	新規	図書館に関する情報や絵本のリスト、乳幼児の読書に関するリーフレットを作成して、産婦人科・小児科医院などに配布する。また、母子健康手帳の交付時、妊婦・父親教室の機会も活用する。
				親子読書会	〇小・中学校 PTA連合協議会 市立図書館	新規	保護者と子どもが自分の読んだ本、好きな本について語り合う会を開く。

子どもの本や読書に関する情報提供

家庭における子どもの読書を支援するために、保護者が子どもの読書について、気軽に相談できる場や機会が必要です。また、本の紹介や地域で行われている子どもの読書に関する活動や事業の情報を、保護者が手軽に入手できることが大切です。そのために、相談窓口となる施設をPRし、ちらしやホームページなどの多様な情報メディアを活用して、必要な情報を届けます。

◆全体的な取り組み(4ページ)をご参照ください。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	図書館のPR	〇市立図書館 おはなしボランティアグループ	拡充	おはなし会などの機会に、図書館が子育て支援の場、絵本の相談窓口であることを伝える。
				新1年生へのPR	市立図書館	継続	「新1年生ビラ」を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 〔第2章6市立図書館にも掲載しています。〕
				家庭への情報提供	市立図書館	新規	図書館のホームページやケーブルテレビで本の紹介などを行う。 〔第2章6市立図書館にも掲載しています。〕
				「子ども対象事業一覧」の活用	地域教育振興課	継続	各々の公共施設で行われている子ども対象事業をまとめたリスト(毎月発行)を活用して、子どもの読書に関する事業についてのPRを関係部局と連携して行う。

(2)地域における市民活動

子どもと保護者への取り組みの充実

地域には、子ども文庫、PTA、公民分館、校区福祉委員会や子ども会、子育てサークルなどの団体・グループがあります。そこでは子どもの読書や居場所づくり、子育てサロン等の活動や事業が行われ、子ども読書活動が広がっています。おはなし会や講座、講演会などを通じて、子どもと保護者に読書の楽しさや大切さを伝える取り組みを充実します。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	乳幼児向けおはなし会	豊中市社会福祉協議会 おはなしボランティアグループ 市立図書館	拡充	校区福祉委員会で実施している子育てサロンで乳幼児向けおはなし会を行う。また子育てサロン開催時に本の貸出しを行う。 子育てサロン33校区実施(18年3月現在)
				絵本講座の開催	○市立図書館 豊中市社会福祉協議会	拡充	子育てサロン・子育てサークルで絵本講座を開催する。また、その場において、子どもや子どもの読書に関する情報交流も行う。
				「地域子ども教室」	地域教育振興課 市立図書館	拡充	学校や図書館等で地域子ども教室を実施し、読み聞かせや工作づくりなどを通して読書や図書館利用を進める。
				講演会の開催	地域教育振興課 市立図書館	継続	PTAと連携し、作家や児童文学研究者・司書などを学校や幼稚園に招いて保護者や子どもを対象に講演会を開き、本や読書への興味を深める。

子どもの本や読書に関する情報提供

図書館や学校、幼稚園などで読み聞かせを行うボランティアが増えています。また、子育てサークルや子育てサロンなどでも読み聞かせを取り入れるところが多くなっています。これらの活動を支援するために、子どもの読書に関する相談窓口や情報提供の場と機会を広げます。

◆全体的な取り組み(4ページ)をご参照ください。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	ボランティアセンター登録者への情報提供	○豊中市社会福祉協議会 市立図書館	新規	ボランティアセンター登録者に読書活動ボランティアに関する情報の提供を行う。

読書環境の整備

子どもがあらゆる機会と場所において本に親しめるよう、環境を整備することが必要です。地域のなかで連携・協力した活動を推進するとともに、市立図書館の団体貸出サービスなどを利用して、子どもが身近に本に親しめる環境づくりを進めます。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	絵本等の貸出	豊中市社会福祉協議会 市立図書館	新規	子育てサロン・子育てサークルの開催時に本の貸出しができる環境を整える。

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

市民活動団体がネットワークづくりを行い、図書館との連携を強めることによって、市民と行政の協働による子ども読書活動を継続的に展開することが必要です。「子どもと本をつなぐ地域交流会」を設置して、ネットワークづくりを進めるとともに学習や情報交流の機会とし、市民による子ども読書活動を支援します。

◆全体的な取り組み(4ページ)をご参照ください。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	グループ連携活動	公民館 市立図書館	新規	公民館と図書館にはそれぞれボランティアグループやサークルがあり、相互に連携した取り組みができるよう交流を深める事業を行う。

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

子ども読書活動に関わるボランティアや市民活動団体の活動は広がりを見せています。子どもと子どもの本に関する情報、図書資料や場所など、活動に必要な情報や学習機会の提供を通じて、活動を支援します。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	子ども文庫活動への支援と連携・協力	豊中子ども文庫連絡会 市立図書館	継続	団体貸出、子どもの本に関する情報や文庫活動に役立つ情報の提供などにより、子ども文庫の活動を支援する。豊中子ども文庫連絡会に対しては社会教育育成団体として補助金を交付する。また豊中子ども文庫連絡会と市立図書館が共催して「子どもと本のつどい」「子どもと本のまつり」を行う。 〔第2章6市立図書館をご参照ください。〕
				おはなしボランティア活動への支援	市立図書館	拡充	資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 〔第2章6市立図書館をご参照ください。〕
				地域ボランティア活動推進事業	地域教育振興課 市立図書館 おはなしボランティアグループ	継続	中学生・高校生による読み聞かせボランティア活動への参加を積極的に進め、保育所・幼稚園・小学校(留守家庭児童会)をはじめ市や社会福祉協議会等が主催する催しで活動の場を広げていく。 〔第2章3保育所(園)幼稚園 4学校 6市立図書館をご参照ください。〕
				市民活動への支援	市立図書館	継続	子どものそばにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える市民の活動を支援する。

子どもに関わる大人への啓発と研修

子ども読書活動に関わるボランティアの活動は、子どもが本に親しむ機会を広げています。子どもの読書活動を、より充実したものにするために、ボランティアが子どもの読書の意義や大切さについて理解と関心を深める取り組みを行います。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	子育てサークルのリーダーへの研修	豊中市社会福祉協議会 市立図書館	拡充	わいわい子育てミーティングの際に、子育てサークルで取り組めるプログラムの紹介や読み聞かせについての学習の機会を持つ。
				校区福祉ボランティアの研修	豊中市社会福祉協議会 市立図書館	新規	子育てサロンが乳幼児と保護者にとって本とふれあう場になるよう、校区福祉ボランティアが子どもと本についての学習の機会を持つ。
				指導者講習での取り組み	○青少年課 市立図書館	継続	指導者講習において子どもの本や図書館の紹介を取り入れる。

子ども文庫では

子ども文庫は、赤ちゃんから大人まで、誰でも気軽に訪れることのできる場所です。お母さんと手をつないでやって来る幼い子もいれば、学校の友だちと待ち合わせをして来る子もいます。「こんにちは！」「今日はいちばん！」と言いながら、元気に駆け込んで来る子どもたちの笑顔はキラキラしています。本棚の前では「どれにしようかな？」「これ、おもしろかったよ。」と友だちと話をしながら思い思いに本を選んだり、頭を寄せ合って1冊の絵本をのぞきこんだりしています。小さな子でも、沢山の本の中から大好きな絵本を見つけた時は本当にうれしそうに何度でも借りていきます。その様子を見つめるお母さんの表情もとても穏やかで、子ども自身の思いを尊重することの大切さを感じます。おはなし会では、こわいおはなしにドキドキしたり、愉快なおはなしに顔を見合わせて笑ったり…

物語の世界を一緒に体験し共感の輪が広がります。また、字が読めるようになって、心をこめて絵本を読んでもらうことの心地よさを、子どもも大人も感じています。てづくり遊び(自然にあるものや身近な材料・道具を使った工作)では、はりきって準備のお手伝いをしてくれる子もいます。自分で工夫してものを創る体験の積み重ねは、子どもにとって自然や科学にも目を向け、関心を広げていく機会にもなります。本との出会い、様々な人との出会いが、子どもたちの心を耕し、豊かな成長へとつながっていくことを心から願っています。



施設紹介 子育てサロン

豊中市社会福祉協議会では、概ね小学校区ごとに校区福祉委員会を組織し、小地域福祉ネットワーク活動を展開しています。「子育てサロン」もその一つで、月1回程度地域の親子が集り、紙芝居や読み聞かせをしたり、専門家を呼んで勉強するなど、親子の交流の場・出会いの場となっています。平成18年(2006年)3月現在、31校区で実施しています。